

灸道湖



今号の表紙

集合写真

新年度のご挨拶	2
「やったことない」→「やったことある」	3
患者さん7名 まつえレディース HALFマラソン2.6kmの部完走！	4
睡眠時無呼吸症候群の検査	5

人事異動	6
異動者紹介	7
特定看護師について	8
職場紹介	9
外来診療表	10

新年度のご挨拶

松江医療センター院長 古和 久典

暦を知っているかのように、新年度の訪れとともに桜が開花しました。新たに松江医療センターの職員となられた皆さんをお迎えし、各部署でご活躍されることを心より期待しています。

セイフティネットの役割を担う後方支援病院（急性期病院を支え、回復期や長期療養を担う役割）である当院では、コロナ禍後の患者数の変化や外科機能の見直しの影響もあり、医業収支の面では厳しい状況が続いていますが、体制の見直しや診療の充実を進めながら、安定した医療提供に努めています。その一環として、2024年11月には病棟の集約を行うなど、体制の見直しを進めてまいりました。

一方で、私たちは単に縮小するのではなく、「地域に必要とされる医療をどのように提供していくか」という視点のもと、さまざまな取り組みを進めています。たとえば、山陰で初めてとなる神経難病患者さんに対する医療用ロボットスーツHALを用いたリハビリテーションの導入や、松江圏域で唯一となるアルツハイマー病に対する抗体薬治療の継続など、当院ならではの強みを活かした医療を展開しています。

また、近年「パーキンソン・パンデミック」という言葉が示すように、パーキンソン病関連疾患の患者さんは地域で確実に増加しています。そうした方々に対し、早期からリハビ

リテーションや生活環境の支援を提案していくこと、さらに今後増えていく85歳以上の超高齢の方々が地域で安心して過ごせるよう支えることも、当院の重要な役割です。

院内に目を向ければ、まだ活用の余地がある病床もあり、より働きやすい環境づくりについても、これから皆さんとともに考えていく必要があります。ぜひ職員の皆さんにも、それぞれの立場や現場からの気づきや工夫を出していただき、一緒により良い病院をつくっていただきたいと思います。

職場環境の「3K」といえば、これまでは「きつい・汚い・危険」といった否定的な意味で語られることが少なくありませんでした。しかし最近では、前向きな「K」に目を向ける考え方も広がっています。医療の現場においては、感動、関心、謙虚、さらには共有、気遣い、気付きなど、さまざまな言葉が思い浮かびます。4月から医療の世界に入られた新社会人の皆さんに限らず、すべての職員がこうした「前向きなK」を大切にできる職場でありたいと考えています。

松江医療センターは、これからも地域の皆さまのニーズに応える医療を提供し、安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。引き続き、地域の皆さまの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年度のご挨拶とさせていただきます。

「やったことない」→「やったことある」

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

2026年（令和8年）も、もう4月。

この春から入職された皆さん、ようこそ、松江医療センターへ！また「宍道湖」の読者の皆さん、本年度も教育研修部をどうぞよろしく願いいたします。

社会人として初めて働くみなさんは緊張の日々が続いていると思います。今はまだできることは少ないかもしれませんが、でも、少しずつできるようになります。大丈夫。

かくいう私、医師としては28年目の春を迎えました。アラフィフの体力低下を自覚する昨今ですが、その昔はピチピチの研修医でした。当時は自分でできることは少なく、自信もあまりなく・・・。「やったことないこと」の連続。うまくいかず、凹み、反省の日々。しかしめげずに勉強を続け、指導医の先生や先輩の先生方のご指導に従い、その後ろ姿を追いかけ続けました。すると「やったことないこと」が「やったことあること」に少しずつ変わっていきます。リバーシ（オセロ®）の白が黒に変わるように。不思議なもので、最初は1枚1枚しか変わらない。だから、成長してるのか、してないのか、わかりにくい。しかし、地道な努力を続けていくと、いつの間にか盤面は一気に変わっていく。「やったことあること」がたくさんになり、自立でき

ていくものなのです。

何が言いたいのか。

「やったことないこと」をやり続けましょう。順番はあるけど、そんなに気にしなくていい。盤面にひとつ、打ち込んでいきましょう。小さなことからでいい。その小さな「やったことないこと」を、小さな「やったことあること」にできれば、次の少し大きな「やったことないこと」への道がひらけます。もちろん、少し大きなことに挑戦するには「やったことある」人の教えを乞うたり、ちゃんと勉強する必要があります。勇気も必要。そして、「やったことある」人は「やったことない」人の盤面を近くで見守りましょう。「やったことない」が「やったことある」に変わった瞬間。両者にとってそれはかけがえのない瞬間です。その瞬間が増えていけば、全体としても成長できるはず。

教育研修部は「やったことないこと」を「やったことあること」に変換するお手伝いをする部門です。何かあれば、駆け込んでください。

さぁ、あなたの一手目は、何でしょうか。大きな盤面は、もう目の前に広がっています。

患者さん7名 まつえレディースハーフマラソン2.6kmの部完走！

療育指導室長 野津 悦子

松江に春の訪れを告げる「第47回まつえレディースハーフマラソン」が3月15日に開催されました。この大会にはハーフマラソンの他に男女問わず参加できるいくつかの部門があり、当院で療養生活を送られる7名の患者さんが車椅子で「2.6kmの部」に出場されました。



昨年末、筋ジストロフィーなどの障害のため、長期に渡り入所されている患者さん数名からこの大会に「出てみたい！」との声上がり、エントリーすることになりました。冬の晴れ間に病院敷地内を車椅子で走る練習をしたり、人工呼吸器の設置場所を考えたりして、少しずつ準備を重ねていきました。



大会当日、松江城大手門前のスタート地点に立った患者さんは、ボランティアで参加した事務部、看護部、療育指導室の職員の伴走で走り出しました。途中、手

が動きにくくなり、伴走者が介助する場面もありましたが、患者さんはそれぞれのペースで車椅子を走らせ、松江城周辺の景色と春風を楽しみながら駆け抜け、約30分をかけて見事に皆さん、完走できました。

沿道の声援を受けながら走り抜けた2.6kmは患者さんにとって、格別なものだったと思います。広い道路の真ん中で車椅子を走らせることも長時間太陽を浴びながら外で過ごすことも普段はできない経験でした。既に来年への出場の意気込みを語られる方もいらっしゃいます。私たちボランティアで参加した職員も楽しい春の一日になりました。



睡眠時無呼吸症候群の検査

臨床検査技師 糸原 奈奈

寝ているはずなのに日中眠い、居眠りをしてしまう、疲れがとれない、朝起きると頭が痛い、いびきがひどい・呼吸が止まっていると言われる…そんな症状でお困りの方はいらっしゃいませんか。

もしかしたらその症状、『睡眠時無呼吸症候群』かもしれません。

◎睡眠時無呼吸症候群とは？

睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea/hypopnea Syndrome; SAS）とは、様々な原因で睡眠中に呼吸が止まったり浅くなったりする疾患です。

呼吸の再開と共に脳が覚醒して睡眠が浅くなるために十分な休息がとれず、昼間の眠気やだるさなどに繋がります。また、交感神経が優位になることで脳血管疾患や心臓病、高血圧などのリスクが高まるほか、眠気から運転中に居眠りをし、交通事故を起こす危険性もあります。



◎検査について

当院では以下の検査を実施しています。

①簡易検査（月曜・木曜）

患者さん自身が以下の3つのセンサを装着して、自宅で行う検査です。

【呼吸センサ、呼吸努力ベルト、血中酸素飽和度センサ】

呼吸の状態、血中の酸素濃度の下がり具合を簡易的に評価します。

②終夜PSG(ポリソムノグラフィ)検査（月曜・水曜：当日および翌日が祝日の場合を除く）

簡易検査でさらに詳しい検査が必要と判断された場合に、入院していただいで行う検査です。

センサの数が多いため、臨床検査技師がセンサを装着します。

【脳波、眼電図、顎筋電図、いびきセンサ、呼吸努力ベルト(胸腹部)、心電図、呼吸センサ、血中酸素飽和度センサ、脚筋電図】

呼吸の状態、血中の酸素濃度の下がり具合の評価に加え、脳波などから睡眠の深さも分かります。解析業務は院内で行っており、検査翌日の10時頃までに結果をお出ししています。



センサを装着した姿
(終夜PSG検査)

◎診断

SASかどうかは、AHI (Apnea/Hypopnea Index; 無呼吸低呼吸指数)という指標で評価します。これは、10秒以上の呼吸停止が1時間に何回起こっているかを示し、一般的にAHIが5以上でSASと診断されます。AHIによる無呼吸の重症度は以下の通りで、2026年3月時点では終夜PSG検査でAHIが20以上となるとCPAP（シーパップ：持続陽圧呼吸療法）という治療が保険適応となります。

気になる症状がある方は、一度検査を受けてみられてはいかがでしょうか。

(写真はフクダライフテック中国（株）より提供いただきました。)



CPAP用のマスクを使用します



CPAP治療器の一例

人事異動

発令月日	事項	職名	氏名	備考
3月31日	定年退職	臨床研究部長	足立 芳樹	再雇用へ
3月31日	退職	呼吸器内科医師	坪内 佑介	
4月1日	転出	事務部長	藤澤 良次	東広島医療センターへ
4月1日	転出	看護部長	日笠 陽子	広島西医療センターへ
4月1日	転出	企画課長	小山 敦史	岡山医療センターへ
4月1日	転出	理学療法士長	今井 靖二	広島西医療センターへ
4月1日	転出	看護師長	井澤 俊二	米子医療センターへ
4月1日	転出	看護師長	渡壁 裕里子	こどもとおとなの医療センターへ
4月1日	転入	事務部長	建部 宏明	とくしま医療センター西病院から
4月1日	転入	看護部長	坂本 栄美子	呉医療センターから
4月1日	転入	管理課長	中村 卓記	柳井医療センターから
4月1日	転入	経営企画室長	後山 勝	とくしま医療センター東病院から
4月1日	転入	理学療法士長	河野 明彦	岩国医療センターから
4月1日	転入	看護師長	江藤 久美子	米子医療センターから
4月1日	転入	看護師長	前田 久美子	浜田医療センターから

異 動 者 紹 介

さかもと え み こ

看護部長 **坂本栄美子**

呉医療センターより赴任してまいりました。看護部理念である「私たちは、一人ひとりを大切し、誠実で信頼される看護、専門性の高い看護を実践します」のもと、患者様が安心して療養できる環境を整えるとともに、職員がやりがいを持って働き続けられる職場づくりに精一杯努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

えとう く み こ

看護師長 **江藤久美子**

米子医療センターより看護師長昇任で参りました。今まで外科系病棟・手術室看護に携わってきました。これからも患者さん、ご家族の方に寄り添った看護を提供できるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

まえだ く み こ

看護師長 **前田久美子**

浜田医療センターより異動で参りました。松江医療センターでは研修などでお世話になったことがあります。緊張していますが自分のできることを探し全力で取り組んでいきたいと思っております。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが精一杯頑務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

こうの あきひこ

理学療法士長 **河野明彦**

岩国医療センターより参りました。急性期での経験が中心で、慣れないことも多いかと思いますが、皆さまのお力をお借りしながら、少しずつ成長していければと思っています。ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、日々学びを大切にし、力になれるように努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

たてべ ひろあき

事務部長 **建部宏明**

とくしま医療センター西病院から異動してまいりました。松江医療センターでの勤務は平成19年4月から2年半勤務をしており、久しぶりに山陰での勤務となります。病院にとって厳しい時期ですが、少しでも力になれるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

なかむら たかき

管理課長 **中村卓記**

柳井医療センターから異動して参りました。山陰地方での勤務は初めてになります。松江は自然豊かで美味しいものもいっぱいあると聞いてきましたので、そちらも楽しみにしたいと思います。右も左もわからずご迷惑をお掛けすると思いますが、皆様どうぞよろしくお願い致します。

うしろやま まさる

経営企画室長 **後山 勝**

これまで広島、岡山、徳島の病院にて勤務し、とくしま医療センター東病院から異動して参りました。島根には毎年、マラソン大会で訪れていたことから馴染みのある場所であり、勤務できることを嬉しく思っております。温かな医療の提供ができるよう努めて参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

特定看護師について

2階病棟 副看護師長 寺田 航大

はじめまして、2階病棟副看護師長の寺田です。

私は令和4年に国立病院機構広島西医療センターにて看護師特定行為研修（在宅慢性期パッケージ）を修了し、現在は2階病棟で特定看護師として活動しています。

2階病棟では、胃ろう（お腹に作った栄養の入り口）の交換を特定看護師が担当しています。これまで医師が行っていた処置を担うことで、医師の負担軽減につながるとともに、処置までの待ち時間を短くすることができます。また、患者さんの体調やリハビリ、入浴などの予定に合わせて日程を調整し、できるだけ負担の少ない形で処置が受けられるよう心がけています。

特定看護師は処置だけでなく、チーム医療の推進にも取り組んでいます。例えば、管理栄養士や医師と連携し、栄養状態を確認しながら安全な栄養管理につなげることや、床ずれ（褥瘡）を予防するために、体の向きの工夫や皮膚の状態の観察についてスタッフと情報共有を行っています。多職種で意見を出し合い、患者さんにとってよりよい方法を考えることを大切にしています。さらに、特定行為研修で学んだ知識や技術は、院内研修や病棟スタッフへの勉強会だけでなく、日々の実践を通して共有しています。新しい知識を現場に広げることによって、病棟全体の看護の質を高めることも、特定看護師の大切な役割だと考えています。

これからも、患者さんにご家族が安心して療養生活を送れるよう貢献していきたいと思っております。



職場紹介 (1階病棟)

神経難病（主にALS）と筋ジストロフィーの患者さんが入院されている病棟です。気管切開を行い人工呼吸器装着中の患者さんも多く、パソコンや文字盤など患者さん個々に合わせた方法でコミュニケーションを図っています。

長期療養されている方も多く、治療の場であり生活の場でもあるため、患者さんの想いを大切にして心豊かに過ごしていただけるよう、多職種で協力して支援させていただいています。



外が見える明るいホールで過ごされています



院外の行事参加の様子



室内で映像を映し出し、「ゆめ水族園」を楽しまれています

職場紹介 (療育指導室)

当院は、「病院」としての機能だけでなく重度の障害がある方が利用される福祉サービスである「療養介護」や「障害児入所支援」などを行う「施設」の機能を併せもっています。

それらの病棟は患者さんにとって、「医療の場」とすると同時に「生活の場」です。療育指導室は、その病棟に入所されている重症心身障害（重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複した状態）の方、筋ジストロフィーをはじめとする神経・筋疾患の患者さんに対し、福祉の側面から支援を行う部署で、長期に渡り、療養生活を送られる方が医療を受けながら、楽しく、安らぎのある日々を重ねていただけるよう、「生活」の視点を第一に支援を行っています。



創作活動や音楽活動、障害者スポーツなどの日中活動で日々の楽しみを、季節ごとの行事で四季の移ろいを、外出では地域とのつながりを感じていただけるような時間を設定し、患者さんにとって病院での生活が潤いのあるものになるよう努めています。

また、サービスが円滑に受けられるよう、入所希望の相談対応、入所継続の手続き、車いすをはじめとする補装具作成などについて行政や関係機関との調整をおこなっています。

在宅生活を送られる方に対しては、重症心身障害児者のデイケアや短期入所調整、筋ジストロフィーの精査入院調整などを行い、ボランティアとの交流のためのコーディネートも担当しています。

医療と福祉、入所と在宅、それぞれを支援の両輪とし、利用される方々が安心して生活・療養できるよう、支援を続けています。何かお困りごとなどございましたら、お声かけください。



松江医療センター 外来診療表

令和8年4月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	各診療科医師一覧・専門分野等	
呼吸器内科		岩本 (初診) 坪内	小林 (初診) 門脇	木村 (初診) 岩本 池田	門脇 (初診)	池田 (初診) 木村 小林	池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 岩本 信一	呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
呼吸器外科		目次		目次		目次	目次 裕之	呼吸器外科・一般外科
脳神経内科 (予約優先)		渡辺	古和 (予約制) 下山	深田	足立 中野 細田	(交替制)	古和 久典 足立 芳樹 渡辺 保裕 下山 良二 深田 育代 細田 義人 中野 俊也	脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科
循環器内科						生馬	生馬 勲	循環器一般
消化器内科		法正					法正 恵子	消化器内科領域
小児科	小児科発達 専門外来 (予約制)	久保田 (初診・午後)	久保田 (午前のみ)		久保田 (午前のみ) 前垣 (第2木曜のみ)		久保田智香 前垣 義弘	重症心身障害・小児神経・摂食機能障害・発達障害 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害・発達障害
	予防接種		(予約制)				●小児科発達専門外来(予約制) 月曜日(初診) 13:00~15:00 火・木曜日 9:00~12:00 ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発達の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。	

特殊外来・セカンドオピニオン・検診

曜日	月	火	水	木	金	診療時間・診療内容
睡眠時 無呼吸外来				小林 (予約制)		14:00~15:30 いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
息切れ外来		池田 (予約制)				13:00~15:00 息切れの診断と治療を行います。
喘息 アレルギー外来					池田 (予約制)	9:00~12:00 成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
慢性咳嗽外来					池田 (予約制)	9:00~12:00 3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
禁煙外来				呼吸器内科 担当医(予約制)		9:00~9:30 禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
アスベスト 外来		(予約制)	(予約制)	(予約制)		8:30~11:00 石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
もの忘れ 外来			深田 (予約制)			9:00~12:00 もの忘れの診断と治療を行います。
ボツリヌス 療法外来	(予約制)	(予約制)				9:00~12:00 痙縮(筋肉のつっぱり)に対して、筋肉の緊張をやわらげる薬剤(ボツリヌス毒素)を注射して痙縮を軽減させる治療を行います。
セカンド オピニオン外来	(予約制)	(予約制)	(予約制)	(予約制)	(予約制)	紹介状が必要です。 呼吸器内科・呼吸器外科・脳神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当いたします。
肺がん検診	(予約制)	(予約制)	(予約制)	(予約制)	(予約制)	15:00~17:00 ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,500円

【診療・受付時間(年末年始を除く平日)】

診療時間	8:30~17:15
受付時間	8:30~11:30
自動再来機受付時間	8:00~11:30

【連絡先】

(患者さん・ご家族の方)病院代表
電話 (0852)21-6131
(医療機関の方)地域医療連携室直通
電話 (0852)24-7671 FAX (0852)24-7661



国立病院機構松江医療センター 〒690-8556 松江上乃木5-8-31